

高梁市議会だより

第40号
2019年11月



9月定例会
特集「決算審査」

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収支比率 (%)	86.6	86.6	94.2	95.7	94.5
実質公債費比率 (%)	12.0	11.2	11.3	11.7	12.3
将来負担比率 (%)	69.7	76.5	89.4	88.3	94.3

経常収支比率…自治体財政の弾力性を示す指標。人件費や扶助費など経常的支出が、一般財源のうちどの程度の割合になるかを示す比率。比率が高くなるほど硬直化が進む。

実質公債費比率…自治体の収入に対する負債返済の割合。18%以上になると新たな借入に国や県の許可が必要になる

将来負担比率…自治体の借入金の大きさを、その自治体の財政規模との割合が示したものの。



平成30年度 決算審査

平成 30 年度は、7 月に発生した豪雨災害を受けて、予定されていた施策や事業を中断して、財政調整基金を大幅に取り崩し、災害復旧を最優先に重点的な予算が組まれました。そのため、前年度に比べて歳入で約 39 億 5000 万円増、歳出で約 32 億 3000 万円増と大幅に増加しています。しかし、合併から 10 年以上が経過し、普通交付税の段階的な縮減が始まっており、高梁市の財政を取り巻く環境はかつてなく厳しいものになっています。

総務費

- Q ふるさと応援基金積立金の使い道は。
- A 寄付者の意向を伺っている。移住者支援、安心なまちづくり、雇用環境の創出、心豊かな人材の育成、災害対策、観光振興、地域振興基金、スポーツふれあい活動などに充てている。
- Q 使い道を寄付者に報告しているのか。
- A 他市では行っているの
- Q 住宅新築補助や住宅取得助成制度、また住宅リフォーム助成や空き家バンクへの登録も行っているが状況はどうか。
- A 空き家バンクの利用や住宅リフォームは、7月の豪雨災害の影響もあり減っている。梁クラスを介した方は定着率が高いと思われる。

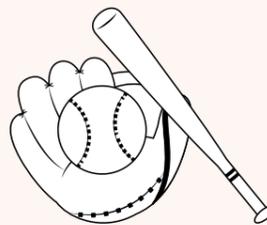
民生費

- Q 病後児保育の実績が少ないが。
- A 昨年はインフルエンザの流行がなく、対象者が少なかった。広報も強化する。
- Q 子ども医療費支給事業について支給件数が減っているが理由は。
- A 出生数が減少しているが、一件あたりの支給額が増えているので、医療費の総支給額については大きな差はない。

衛生費

教育費

- Q 平成30年度に実施できなかったスポーツ関係の行事の成果をどう評価しているのか。
- A 交流人口の増加には寄与している。ただし、行政改革の考え方に基づいて、予算の範囲内で配分するため平成31年度には縮小したのももある。
- Q スポーツ行事の中には、市より委託を受けて何十年も前から開催しているものもある。全額削減ではないのか。
- A 各地域で野球大会、剣道大会、柔道大会など様々な大会が行なわれている。それぞれの競技を運用していく中で補助金を調整させてもらっている。
- Q 成羽運動公園野球場や平松政次球場などの管理を委託に出している。外野の芝生が傷んでいるが、どう考えているのか。
- A 平松政次球場の芝生については、昨年度は使用を中止して、一部の芝生の張り替えを行った。全面的な改修は予算的に厳しいので、年次的に部分補修を計画していく。
- Q 図書館の駐車場管理費が800万円だが、使用料収入は約200万円である。管理の在り方を見直すべきではないか。
- A 収支のバランスが崩れているのは確かである。図書館の駐車場という在り方と共に、利活用にも取り組んでいく。



商工費

- Q 高梁国際ホテルの状況はどうか。
- A ホテル側から総額3億円弱の改修計画が提出されていて、対応を検討中である。
- Q 観光戦略についての方策は。
- A 市内の観光協会の統一に向けて協議が行われている。
- Q 商工費が年々減額されている。市の認識は。
- A 主な減額要因は住宅リフォーム事業や観光トイレ
- Q 事業が終了したためである。商工業発展に向けては国の制度などを活用して進めたい。
- Q 吹屋地域活性化事業委託料220万円はどういう事業なのか。
- A 旧吹屋小学校の保存修理が完了することに当たり、吹屋地域の活性化を図っていくのが主な目的。地元の方と5回のワークショップを行って意見を伺った。

土木費

- Q 岡山自動車道付加車線設置事業の進捗状況は。
- A 有漢トンネル工事18% 橋梁下部工事12%、高梁工事区99%である。
- Q 街路整備事業検討業務委託料の内容は。
- A 市道下町・薬師院線（駅から花木通り）の設計を行った。
- Q 単独住宅（旧雇用促進住宅）の入居状況は。
- A 274戸の内168戸入居している。
- Q 単独住宅の老朽化が進んでいるが、今後の考えはあるのか。
- A 老朽化の進んだ臥牛団地（原田南町）については検討中である。
- Q 吹屋にある宿泊施設「町家ステイ吹屋千枚」の稼働状況は。
- A 稼働率は16%であるが、昼のカフェは好調なので、認知度を上げていきたい。
- Q 市営住宅の管理を外部委託したらどうか。
- A 今後検討を進めたい。

農林水産業費

- Q 農地費が大きく減額補正されているが、要因は何か。
- A 主に県事業が縮小されたこと、豪雨災害での事業見直しである。

簡易水道特別会計

- Q 一般会計から毎年4億5000万円を特別会計に繰り入れているが統合後はどうなるのか。
- A 高料金対策の繰入金が減額され、赤字補填ができなくなる。今後も使用料が高くなるよう国に要望していく。

令和元年 第3回 高梁市議会 定例会

9月4日から25日まで、令和元年第3回高梁市議会定例会が開催されました。今定例会では、平成30年度決算認定など認定3件、議案34件が審議され、いずれも原案どおり認定、可決されました。総務文教委員会では旧吹屋小学校の工期延長に係る補正予算に対し、進捗に関して付帯決議がつけられました。



令和元年度高梁市 一般会計補正予算 (第1号)

補正予算審議では、旧吹屋小学校整備事業が2年延びること、耐震強度を確保する追加工事や仕様変更が必要となる追加の事業費約6200万円が大きな焦点となった。

議員からは、今になって突然補正予算が提出されるのか、もつと以前に進捗状況は把握できていたのではないかとという質問が相次いだ。執行部からは、進捗は把握していたが、認識に差異があったということや、

国への補助金変更申請や業者との契約変更などの必要性からこのタイミングでの補正予算提出になったという説明があった。

あと2年で確実に完成するのかという問いに対しては、これまでの実績から2年で完成すると業者に確認を取っているという回答があった。

議員からの、工程会議などでも厳しく対応すべきという声に対しては、今後は内部の専門家とも相談し、しっかりと工程管理していくとの回答があった。

委員会での審査の中で、旧吹屋小学校の工期が非常に厳しいことについて付帯

決議をつけるべきという意見があり、総務文教委員会では、全員一致で「旧吹屋小学校整備については、令和3年度の完了に向け進捗管理に十分留意されたい」という付帯決議をつけることが決定した。



▲保存修理工事中の旧吹屋小学校

高梁市斎場、葬祭 用具その他施設等 利用条例の一部を 改正する条例

今定例会ではさまざまな公共施設利用料の値上げが論議された。委員から、

中でも高梁市斎場の利用料金の値上げは高梁市民全てに関わるものである。消費税増税や年金の引き下げなど市民生活の負担が大きくなる中、安易な受益者負担を求める施策に対し反対であるとの意見が出された。執行部からは高梁市の斎場利用料金は他市との比較から非常に安い利用料金の設定であり、値上げ後の料金

体系も他市と比べ低料金であるとの説明があった。採決の結果、原案どおり可決すべきものと決した。

高梁市国民健康保 険成羽病院事業会 計決算認定

成羽病院の事業会計は赤字決算が続いている。病床の利用率の低さが一因とのことだが、委員からは利用率の改善策などどのようなものがあるのかとの質問があった。

執行部からは、病床の利用率を上げなければならぬのはもちろんだが、現在の療養病床を増やすことは看護師配置の事情もふま

難しい。介護医療院への転換もさまざまな問題があり一度に転換は難しいが、これらも選択肢の中できちんと検討していきたい。入院単価、診療単価の低さも赤字の一因であり、この単価を上げる方向で黒字化を図る方針であるとの回答があった。

学級編制基準の引き下げと計画的な教職員定数改善、教育の機会均等と水準の向上を求める意見書採択の要請についての請願

少人数学級の推進、教職員定数の改善、教育の機会均等と水準の維持向上のために国庫負担の割合を増やすということが今の高梁市の状況に合致するのではないかとという意見があり、全員一致で採択すべきと決した。

また、本会議最終日に議員発議で意見書の提出について議案が提出され、全会一致で可決されました。

討 論

平成30年度高梁市各会計歳入歳出決算認定のうち一般会計について、昨年の豪雨災害からの復旧・復興事業のために、事業の延期や中止、また補助金カットや基金の取り崩しを行った。しかし国が定める早期健全化基準以下であり、各議員から出されたさまざまな意見を来年度予算での検討を行うことを求め賛成する。

水道料金の改定は安定供給に必要なものと考え議案に賛成するが、人口減少や過疎化が進む中今回の引き上げが限度とし、将来的には県主導でのさらなる広域化を要請する。

議案には各施設の使用料改定が提案されている。利用者負担増となるが、近隣他自治体との比較や算定基準を定めての改定、また受益者負担という考え方に

ついては、ある程度は理解し賛成する。しかし各施設とも生涯学習や青少年育成の場であり、地域コミュニティに使用され必要に応じた減免処置を求める。

(宮田好夫議員)

平成30年度高梁市各会計歳入歳出決算認定には、本来教育施設である図書館が複合施設として指定管理に

出されている問題、吉備国際大学に対し支援金が優先計上されている問題、コスト以上に利便性が見込めないマイナンバーの問題が含まれ、市民生活が最優先とされておらず反対する。

多数の議案において、各種の利用料引き上げが提案されている。特に水道料金の引き上げ、斎場利用料の引き上げ、各種施設利用料の引き上げは市民生活に

対して影響が大きい。特に水道料金を1.5倍への引き上げは問題がある。少量利用者や減免制度の創設が必要。むしろ財源投入で料金引き下げを求め反対する。

また幼児教育・保育の無償化関連議案において、約40世帯で月額700円の程度の負担増との試算がある。年間約25万円程度の予算で負担増となる世帯を無償にできるが、今後の減免制度等の充実を考えた際の意向もあるよう議案にあえて反対はしないが、幼児教育・保育の無償化によりかえって負担が増える方向を作らない努力を望む。

(石部 誠議員)



▲成羽病院の看護展の様子

全員協議会を開催しました

8月23日、議会全員協議会が開催され、6件の重要課題について、執行部からの説明と質疑応答がなされました。

1 旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」売却に関する公募について

平成24年12月以降休館している「旧朝霧温泉ゆ・ら・ら」については、平成30年3月に民間事業者意向調査が行われ、活用の可能性が確認できたので、平成30年度に公募による売却先を決定する予定であったが、豪雨災害により中断していた。

そこで、改めて活用等の企画提案を民間事業者から募集し、売却先候補者選考委員会において売却先候補者を決定していくことになった。

候補者選定の判断方法についての質問に対し、執行部からは、周辺施設との連携や自然環境への配慮、地域経済の活性化、地域課題の解決等は選考委員会の審査によって決定されるとの答弁があった。



▲旧朝霧温泉ゆ・ら・ら

2 アニメスタジオについて

平成28年1月、本市の人口減少を克服するために高梁市総合戦略を策定しており、アニメを活用したまちづくり事業はその中の主要な事業となっている。そこで平成30年3月、商店街の空き店舗を活用して「高梁アニメスタジオ まちけん」がオープンした。ここではスタッフの雇用、アニメ制作、大学生のインターンシップ受け入れなどの実績がみられたが、今後の収益を見込むことがで



▲高梁アニメスタジオ「まちけん」

3 高梁西地区ケーブルテレビ網光化事業について

ケーブルテレビ網は災害時の情報通信の基幹であり、光化により、より災害に強い情報通信手段となる。高梁地区、有漢地区については令和元年度でケーブルテレビ網光化の整備が完了する予定であり、今後成羽地区、川上地区、備中地区のケーブルテレビ網光化を整備していくとの

4 公共施設の使用料の見直しについて

説明があった。議員からは、昨年の7月豪雨災害以降3年間は、災害復旧復興最優先であり、なぜ今ケーブルテレビ網光化を進めなければならないのかとの質問があった。執行部からは、本事業も災害に強い情報通信網を整備する事業であり、市民の安全安心につながるとの答弁があった。

本市では、今後も人口減少が見込まれることから歳入が減少する一方、社会保障費や公共施設の維持管理費等の負担割合は増えていく。したがって引き続き行財政改革には取り組みをしなければならない。公共施設の運営に関して言えば、必要となる経費は利用者の使用料と市民の税金で賄われている。適正な受益者の負担額を算出するにあたっては、サービス原価に受益者の負担割合を乗じて行うこととした結果、今回は13施設の使用料の一部を見直す予定としており、見直しによる効果額の試算は340万円となった。

5 水道事業の統合及び料金改定について

議員からは値上げに対して市民合意が得られるのかとの質問があった。執行部からは、今後丁寧な説明とともに個別にも対応していくとの答弁があった。

現在市内にある上水道と簡易水道は、国の方針に基づき統合される予定であるが、統合後は原則独立採算での運営になるため、繰入金や交付税が減額となる。また、給水人口減少による収入減、施設更新に伴い事業資金の増加が見込まれることから水道料金の見直しが必要となるとの説明があった。

議員からは、税金投入してでも水道料金を抑えるべきとの意見があった。執行部からは、統合後も健全経営に努めるが、統合後も統合前と同じように財政支援を受けられるよう、国や関係団体に訴えていくとの答弁があった。



▲修復工事前の吹屋小学校

6 旧吹屋小学校校舎の保存修理について

旧吹屋小学校校舎保存修理工事について、工期を2年延長して7年計画とすること、事業費として6200万円の増額が必要であることとの提案があった。工期変更の理由は、解体して初めてわかった構造などがあり、耐震補強工事の見直しや保存修理委員会での審議、設計変更の期間を要したこと、また、部材の腐朽が想定を超えていたため作業の難易度が上がったためであるとの説明があった。また、事業費増額の理由としては耐震強度を確保する追加工事や仕様変更によるとの説明があった。

議員からは、なぜもっと早く説明が無かったのか、工程管理が不十分ではなかったのかとの質問があった。執行部からは、毎月現場事務所での会議を行っていたが、結果として不十分であった。今後は施工会社の社内体制も整備することであり、復元工事が完成することを第一に考えたとの答弁があった。

9月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○：賛成 ●：反対

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	宮田	森田	倉野	川上	宮田	川上	大月
平成30年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市キャンプ場等林間休養施設条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市川上フラワーフルーツパーク条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市川上畑地かんがい施設条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市備中高梁駅前広場条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市給水条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市下長谷地区給水施設条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市隣保館条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市斎場、葬祭用具その他施設等使用料条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市成羽文化センター条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市有漢生涯学習センター条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市旧備中松山藩御茶屋条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市吉備川上ふれあい漫画美術館条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高梁市文化センター条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

◎他の議案、認定案件は全会一致で可決しました。

「第17回エデュカーレinたかはし」に参加しました



▲ワールドカフェ



▲フリップボードディスカッション

「第17回エデュカーレinたかはし」が7月20日に吉備国際大学国際交流会館で開催されました。このイベントは、井勝久喜教授のゼミの学生が実行委員会を組織して、ワークショップ形式で地域課題の解決策を話し合うものです。

会場では、ゼミの学生が笑顔で参加者を迎え、出席者が打ち解けることのできる雰囲気づくりをしていました。出席者は中学生から大学生、社会人まで38名、高梁市議会議員8名の46名です。チェックイン（自己紹介）の後、7名程度のグループに分かれ、各グループでフリップボードディスカッションを行いました。ここでは、決められたテーマについて各自が意見を書いてグループ内で発表します。フリップボードを使うことで、書いたことが記憶に残り、お互いに議論がしやすくなりました。

休憩を挟んで、次はワールドカフェ方式での意見交換を行いました。7名程度のグループを組んでテーマに従って発言しながら、キーワードを書き出していきま

す。グループを変更して意見交換を行った後、もう一度元のグループに戻って他のグループでの成果も取り入れつつ、再度テーマについて話し合いました。最終的にはグループごとにKP法（紙芝居を使ったプレゼンテーション方式）で発表しました。

これまでの議会報告会では、報告や質疑応答が主でした。今回参加したことで、今後の議会報告会の新たな方向性を見出すことができました。



産業再生プランや山林の維持管理手法を研究 産業経済委員会

7月17日・18日
三重県松阪市・京都府南丹市

今回の視察は、市域面積の78%を山林・原野で占められている本市において、山林、原野を活用できないかという課題意識をもとに行われました。

三重県松阪市では、山林の環境維持と地域経済の活性化施策について具体的に説明を受けました。国の再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、間伐材に付加価値を見出すことにより、森林の維持管理を促進し、またその買

取金額の半分を地域の商品券で支払うことにより商業にもすそ野を広げる施策は、大変有用な考え方と認識しました。

また、京都府南丹市においては、早くから森林産業再生プランの先駆けとなるモデル事業を展開し、地域ごとの森林経営計画の樹立に取組んでいました。それに基づく森林管理システムは、所有者と市、また国・県の役割を明確化しており、大変参考になりました。



▲三重県松阪市での研修



▲京都府南丹市での研修

議員が聴きます、市政の疑問点！

一般質問

9月の一般質問では、11名の議員が執行部に対して質問しました。今議会では、多くの公共施設の利用料金が値上げされること、上水道と簡易水道の統合に伴う料金改定などに対して複数の議員がその必要性などを質しました。また、旧吹屋小学校校舎保存修理工事の工期延長の理由や、今後の方針などについても2名の議員が質問しました。その他、農業や有害鳥獣対策、教育、地方創生事業として始まったアニメスタジオについても質問が行われました。

災害復旧工事が期間内にできるのか

答弁：
状況は厳しい。国や県へ要望していきたい



三村 靖行 議員

- ・有害鳥獣対策について
- ・旧吹屋小学校校舎の保存修理について
- ・西日本豪雨災害について

有害鳥獣対策室について

三村 有害鳥獣対策室を設置し、3年が経過したが、どのような成果が出ているのか。

産業経済部長 有害鳥獣への対応や対策が迅速にできた。防護柵等は、補助率を3分の1から2分の1に増額し拡充が図られている。

三村 成果はそれだけか。市民は抜本的な対策を求めている。今後どのように取り組むのか。

産業経済部長 成果が目に見えるまで対策室を継続し取り組む。

旧吹屋小学校校舎保存修理事業について

三村 補正予算の規模からして、2年もの延長が必要なのか。

教育次長 柱の傷みが想定以上で修復作業が増えたが、災害で専門的な大工の確保ができなかった。

三村 業者の責任ではないか。

教育次長 顧問弁護士から業者責任は問えないとのことであった。

災害復旧工事について

三村 災害復旧工事は原則3年、繰り越しすれば4年と決められているが、期間内にできるのか。

産業経済部長 現在の状況では難しい。県や他市と情報交換しながら国等へ要望していきたい。

三村 本体工事に以外に道路や側溝修繕等が必要となるが、どう対応するのか。

産業経済部長 予算不足があれば補正予算で対応したい。

水道料金は引き下げても引き上げをすべきでない

答弁： 独立採算であり引き上げは不可欠



石部 誠 議員

- ・水道事業の統合と料金引き上げについて
- ・行財政改革プランと公共施設の使用料引き上げについて
- ・アニメスタジオの解散について

アニメスタジオの事業破綻について

石部 吉備国際大学から提案があり、1億円の予算を投入し2年で破綻した。アニメスタジオの破綻の原因と責任はどこにあるのか。

政策監 3年で自立を目指し、高梁市発で海外展開を見込んだ営業活動を行ったが、厳しい状況で解散した。収益が見込めず市として継続支援はできないと判断した。

石部 海外展開計画は破綻したが、今後の市の対応はどうするのか。

政策監 スタジオや機材が残っており吉備ケーブルテレビが引き継いで事業を行う。

石部 市が税金投入を行っていたが、事業破綻の責任は。

副市長 経営の責任は、一義的に

は会社にある。

水道料金の引き上げについて

石部 年金の切り下げや社会保障の切り捨て、非正規雇用の増大などで市民生活は大変だが、水道料金の引き上げについて市民合意が得られるのか。

産業経済部長 水道経営審議会でも慎重に審議し、議会でも説明を行い一定の理解を得ている。

石部 細やかな広報や、市民への説明会の開催を求める。

産業経済部長 料金改定に伴い、説明会を行う。

石部 少量の利用者や福祉政策での減免制度を設けたらどうか。

産業経済部長 新たな減免制度は設けない。

ききょう緑地グラウンドは、いつから使えるのか

答弁： 今年度中に復旧工事を完了する



伊藤 泰樹 議員

- ・児童、生徒の登下校の安全について
- ・教科担任制について
- ・屋内プールについて
- ・ききょう緑地グラウンドについて
- ・旧吹屋小学校校舎の保存修理工事について

通学路の安全性について

伊藤 落合町阿部地内の国道313号の自転車による下校時の安全性の確保に、スクールバスや路線バスの活用は考えられないか。

教員長 基本的には路線バスの利用は可能であり、要望があれば、公共交通会議で総合的に考えられるべきことである。

教科担任制について

伊藤 小学校に教科担任制を導入すべきではないか。

教育長 専科制(英語等)は15件ほど導入している。さまざまな問題があり、教員数については国でも検討されているので、その行方を慎重に見守っていききたい。

屋内プールの検討について

伊藤 暑さ指数により屋外プールの利用が制限される中、屋内プールの検討が必要ではないか。

教育次長 明言できる時期ではない。

旧吹屋小学校校舎の保存修理工事について

伊藤 工期延長、工事費の増額をどう認識し、改善しようと考えているのか。

市長 困った時には直ちに報告するよう指示している。仮にそういう事案が発生した状態に陥った時は、速やかに報告し、その善処策と対応を考え、努めていきたい。

新総合計画の策定状況はどうか

答弁： 今年度は現計画の検証や市民アンケートなどを行う。令和3年度からの総合計画は、来年度に策定する



宮田 好夫 議員

- ・財政について
- ・行財政改革プランについて
- ・総合計画について

来年度予算に向けて

宮田 令和2年度の予算はどのような考え方で編成していくのか。

市長 災害復旧が優先だが、これからのまちづくりに着手するため予算も考えている。

宮田 予算確保はどう行うのか。

市長 来年度の国の一般財源総額は若干増えるように聞いているが、予算確保に向け国や県に働きかける。

窓口業務の民間委託について

宮田 窓口業務の民間委託を検討しているが、どのような状況なのか。

民生生活部長 先進自治体の調査や内部での議論を進めている。市



持続可能な自治体の基本理念はなにか

答弁： 市民一人一人が等しく情報サービスを受容できる環境を作っていくことが重要である



黒川 康司 議員

- ・森林環境譲与税について
- ・持続可能な開発目標(SDGs)について

森林環境譲与税について

黒川 森林環境譲与税については、国が新たな森林管理の仕組みとして「森林の管理経営を意欲ある持続可能な林業経営者に集積・集約化し、それができない森林の管理を市町村等が行う」として、本年度より創設された。財源については5年後の令和6年度から森林環境税として賦課徴収される予定である。本年度から高梁市へ交付されるが、その使途についてどのように考えているのか。

市長 本市に交付される森林環境譲与税は、今年度の当初予算では、682万5000円で計上してあるが、実際には約1400万円交付される見込みである。今後

は年々増加し、令和15年度には、4700万円程度交付される予定である。この使途については、まず山林の状況調査を行い、民間では施業等が困難な民有人工林について、森林を守る観点から市が行う。併せて林業従事者の育成も行う予定である。

黒川 令和6年度からの森林環境税の賦課徴収方法については、どのようになるのか。

市長 個人住民税均等割と併せて徴収する予定である。

子どもたちが思考力を身につけられるような教育を



石井 聡美 議員

- ・アニメによるまちづくりについて
- ・教育行政について

アニメによるまちづくりについて

石井 アニメによるまちづくりとはどのようなものなのか。

政策監 地方創生交付金という制度を活用し、人口減少の中、新たな産業を興すためのアニメスタジオオである。引き続き、人材育成の場として再生したい。

石井 アニメスタジオのための人材集めは、実績のある人を連れてくるのが中心で、人材育成という面が弱かったのではないかと。今後、どのような形で強化するのか。

政策監 まだ具体的な形は持ち合わせていない。大学とも連携し、スタジオを情報発信や人材育成の受け皿にしていきたい。

全国学力テストについて

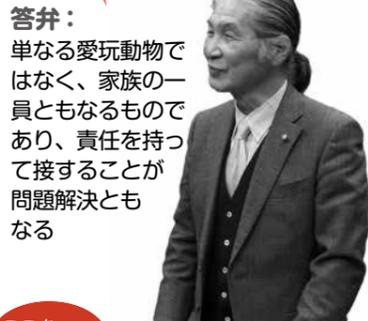
石井 高梁市の中学生は、家庭での学習時間が不足しているのではないかと。

教育長 同じ生徒が小学生の時よりも勉強時間が少なくなっている傾向はある。部活や通学時間の制限もあるが、ゲームやテレビ、ネットの時間が伸びていることも影響している。

石井 学校教育の中で、もっと子どもたちの自発的な学びを尊重すべきではないかと。

教育長 非常に大切だと考えている。子どもたちに失敗させて学ばせることに関しては、若干手が回り切れていない部分もある。

動物愛護とは何か



森上 昌生 議員

- ・動物愛護について
- ・高梁市の将来図について

野良猫を減らしていくための有効な手段は何か

答弁：単なる愛玩動物ではなく、家族の一員ともなるものであり、責任を持って接することが問題解決ともなる

森上 野良猫に餌を与えないことが野良猫の数を減らすことにつながるデータはない。(*TNR活動が有効な方法と考えるが、市はどのように考えているのか。

市民生活部長 TNR活動の有効性は認められるが、飼養者のマナーを向上させ、無責任な餌やりをなくすことを、今後も広報していくことを続ける。

森上 地域猫活動を行おうとする者に対し、市はどのような支援を考えているか。地域猫活動は猫好き、猫嫌いに関わらず猫被害を減らす手段と考える。この活動を支援する考えはないか。

高梁市の人口減少を抑制する有効な手段があるのか

市民生活部長 地域猫活動を行うようとする方々が、地域の理解を得る努力をお願いする。その上で、できる支援はする。

森上 市の人口減少を抑制する手段はあるのか。

政策監 大変難しい質問だが、出生数を増やし、健康寿命を伸ばすなど手だてをしていきたい。

森上 人口減少は必然であり、人口の減ることをプラスと捉える施策を考えることを提言する。

(*TNR活動 Trap/捕獲・Neuter/避妊 Release/解放の略。野良ネコを増やさないための活動。

選挙の投票率向上対策に取り組むべきではないか



川上 博司 議員

- ・スクラム作戦（高梁市要支援児連携支援体制）について
- ・選挙について

期日前投票について

川上 国政選挙の投票率が下がっている。投票率向上対策として期日前投票の利便性を向上するため、選挙入場券ハガキにシールで剥がすように宣誓書を併用して事前に記入していけるようにしてはどうか。

市民生活部長 岡山市や吉備中央町では取り組んでいるので、参考に方法等を研究していきたい。

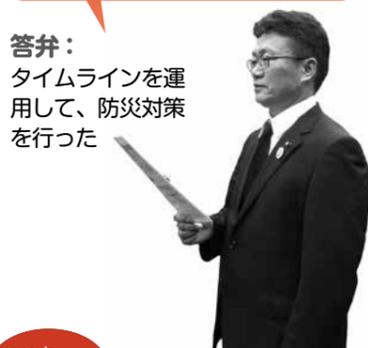
投票機会の確保について

川上 鳥根県浜田市では、ワゴン車を利用して移動期日前投票所を開設し、交通手段の確保が難しい選挙人の投票機会を確保している。投票所まで距離が離れ交通手段



▲浜田市、移動期日前投票所ワゴン車

大型台風の予報に対して、タイムラインを有効に活用したのか



石田 芳生 議員

- ・防災・減災について
- ・危険空き家対策について
- ・学校教育について

台風10号への対応について

石田 自主避難場所の開設準備についてはどうであったか。

政策監 市は避難準備情報等が発令されれば指定避難所を開設する。注意報も出ていない早い段階では、市として一律に対応することが難しいが、今回自主避難をしたいという方で、他に頼めるところがない場合には、市の避難施設を使っていたらいい。

ダムの事前放流について

石田 新成羽川ダムの事前放流の情報伝達について、改めて確認をすべきではないか。

政策監 8月27日の事前放流では電力会社との認識の違いにより、

危険空き家対策について

担当課に直接連絡が入らなかった。また、市内部の情報共有も十分ではなかったため、市民への周知が遅れてしまった。電力会社及び市内部でも連絡体制の再確認と徹底を図ったところである。

石田 危険な空き家に対して行政としてどのように取り組むのか。

市民生活部長 所有者や管理者に関する情報を収集して粘り強く対応をお願いしていきたい。市道の通行等に非常に危険であるような場合には、市として対策を講じることも考えられる。今後も地域と協力して解決に当たりたい。

農業の担い手の確保についてどう考えているのか

答弁：重要な課題であると考えている



平松 賢司議員

ここをききました

・農業政策について

平松 農業は本市の基幹産業であるが、年々農地が荒廃しているのが実態である。市としてどのように考えているのか。

平松 稲作を持続可能な産業とするために、市独自で米の価格補償制度を設けることはできないか。

産業経済部長 中山間地域等直接支払制度に基づき、集落全体で農地の保全をしている。農業や農村の多面的機能については、国の制度を活用している地域が年々増加している。また、農業従事者の高齢化により農地の保全が難しくなってきたので、農地の集約、集落営農、農業法人化への取り組みを行なっている。

平松 農業の担い手不足と後継者育成のためには、定住促進を進める必要があると考えるがどうか。

産業経済部長 担い手の確保は重要であると考えており、就農と定

住の支援として、農地や住居の確保、農業スクールや新規就農研修等を実施している。

平松 稲作を持続可能な産業とするために、市独自で米の価格補償制度を設けることはできないか。

産業経済部長 平成31年1月より、農産物の価格等の補償をする制度として収入保険制度が始まっている。農業経営安定のために積極的に活用していただきたい。

議会運営の効率化と迅速化、情報共有の確実性の向上、そしてペーパーレスの推進による事務作業の軽減と業務スピードの向上を図るために、平成31年3月6日に議会ICT化推進特別委員会を設置しました。

特別委員会設置以降、9回の会議と県内導入先進地



議会ICT化推進特別委員会の取り組みについて

への視察研修、会議システム研修会への参加などにより、調査研究を進めてきました。システムの導入時期は、次の改選後の令和2年10月以降としました。

今後、議会活動にタブレット端末を使用するに当たっての費用負担や、議会でのルール作成、使用基準



岡山市議会議員研修会

8月19日、美作文化センターにて岡山市議会議長会主催の議員研修会が行われました。

鳥取県知事や総務大臣などを務めた早稲田大学公共経営大学院教授の片山善博氏が「地方議会の在り方」をテーマに講演しました。県内の市議会議員約250名に対し、執行部の追認機



関にならずには是非々々で議案を審議することの重要性を訴えられました。

地方議会が担う重要な役割として①意思決定と合意形成、②財政破綻の防止、③行政監視、④議案の吟味、⑤立法とその管理、⑥国の立法や政策VS地域・市民の視点を挙げられました。知事時代のわかりやすい

WBGT^(※) 31でのプール開放中止について市としての見解を問う

答弁：WBGTの数値を適切に運用し、プール開放の是非を決定していく



森 和之議員

ここをききました

・学童保育について
・夏休みのプール開放について
・水道事業の統合及び料金改定について
・備中高梁駅東側の整備について

学童保育について

森 不足している学童保育支援員の処遇改善が急務ではないか。

市長 支援員確保のための待遇改善、労働条件の改善は急務である。最善を尽くしたい。そのためには財源の確保も必要となるので負担をいただくことも考えている。

高梁駅東側の整備について

森 備中高梁駅東側の賑わいを創出するための計画はあるのか。認定こども園、消防署、バスセンターなどの建設も踏まえて考えていく必要があるのではないか。

市長 駅東側は立地適正化計画の中で居住誘導エリアになっている。今後研究していく。

森 備中高梁駅以外の4駅についても住民から、改札口の変更、駐車場や住宅地の整備などさまざまな要望がある。しっかりと取り組んで欲しい。

水道事業の統合及び料金改定について

森 国に対して財政支援の要望を行っているが手応えはあるのか。

市長 維持補修費や工事費などにも補助金をつけて欲しいと国に訴えていく。今までと同じことを訴えたのでは簡単にはね除けられるので、新しい案を持って国へ要望

ようこそ高梁市へ!!

行政視察受け入れ

7月

17日 島根県浜田市議会
中山間地域振興特別委員会
13名
視察内容
「ポケベル電波を利用した防災ラジオの取り組みについて」

18日 福井県敦賀市議会
会派6名
視察内容
「お城を活用した観光客誘客」

23日 福井県敦賀市議会
会派3名
視察内容
「図書館」

23日 群馬県渋川市議会
会派9名
視察内容
「駅前複合施設整備と図書館の運営」

26日 神奈川県議会
防災警察常任委員会12名
視察内容
「防災・災害対策」



※ WBGT (暑さ指数) : 気温、湿度、輻射熱を取り入れた指数。28 を超えると熱中症に罹りやすくなる。

内田大治議員 逝去



内田大治議員が、去る令和元年8月18日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月の定例会スケジュール

12/4	水	本会議（議案の上程）
10	火	本会議（一般質問）
11	水	本会議（一般質問）
12	木	本会議（一般質問）
13	金	本会議（議案質疑）
16	月	委員会
17	火	委員会
18	水	委員会
23	月	採決

※12月議会への請願のしめ切りは

11月28日までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

編集

- 議会広報聴特別委員会
- 委員長 石田芳生
 - 副委員長 石井聡美
 - 委員 川上博司
 - 委員 宮田好夫
 - 委員 石部誠
 - 委員 森上昌生
 - 委員 森和之
 - 委員 伊藤泰樹



備中高梁駅東口の駐車場について

高梁市図書館の駐車場だが、今後の利活用に課題



高梁市図書館開館に伴い、備中高梁駅周辺には有料駐車場が3カ所開設されました。しかし従来の有料駐車場と比べて利用料金の高さや違いに市民から苦情も多く、複数の議員が一般質問で、利用料金の見直しを訴えてきました。



平成30年4月より一部料金が見直されて以前より利用しやすくなりましたが、駅東側第1駐車場の稼働率は依然として低い状態が続いており利用促進に向けて検討しています。

40号の表紙について

令和元年9月29日に、落合町の北山町内自主防災会と北山町内会の主催で防災訓練が実施されました。緊急連絡網で訓練の連絡が伝わると、北山公会堂に約190人が集合しました。その後消火栓を使用した放水訓練や、練習用消火器を使った消火訓練、市役所職員による防災についての講話が行われ、最後に緊急用ポリ袋で炊いたご飯を使ったカレーが振る舞われました。訓練には北山町内会の住民だけでなく、北山在住の外国人の方や他地域からの見学もありました。



地域の人たちなど約190人が参加

カレーの炊き出し訓練

編集後記

今年も残り2カ月、市役所内は来年度予算策定の真っただ中です。今号にある決算審査では議会から様々な意見が出ました。また、各地での懇談会や議会報告会でも多くの意見・提言がありました。これらが新年度予算にどう生かされるのかを注視しています。12月定例会の開会も近づきました。どなたでも傍聴できますのでぜひお越しください。（宮田好夫）